

平成31年4月23日（火）

平成31年度第1回3市ごみ減量推進市民会議

次 第

開 会

1. 委員紹介 平成31年4月1日付人事異動に伴う委員の変更について

2. あいさつ 宮脇委員長

3. 議 事

（1）平成31年度の会議の進め方について

（2）小委員会に分かれて討議

4. まとめ

（1）小委員会からの発表

（2）委員長から

閉 会

平成31年度 3市ごみ減量推進市民会議の進め方について

1. 全体会議の開催について

- (1) 全体会は、年3回
- (2) 全体会は、4月23日(火)、10月(小委員会の中間報告)、2月(小委員会のまとめ)
- (3) 全体会は日野市(東部会館の予定)で開催

2. 小委員会の設置について

- (1) 小委員会は2つのグループ
前回の各委員からの意見を基に、この2つのグループ分けとした。

- ① 環境学習・情報発信グループ(情報G)
- ② ごみ減量施策グループ(減量G)

- (2) 各市で分かれて、所属する小委員会の決定

- (3) 各小委員会に分かれて意見交換

- ① 小委員会のリーダー1名とサブリーダー2名の選出
- ② 小委員会で話し合うテーマについて項目出し
- ③ 出された項目を、検討する優先順位の決定
- ④ 優先順位の高い2つの項目について意見交換(事務局への依頼事項等)
- ⑤ その他

- (4) 全体会で小委員会の意見交換結果発表

次の項目について発表

- ① 小委員会のリーダーとサブリーダー
- ② 委員会で話し合う内容について(すべての項目)
- ③ 平成31年度優先して取り組む内容(優先順位の高い2つ)

- (5) 2つの小委員会に参加する方の希望確認

主となる小委員会と異なる委員会の内容を聞いていただいた上で、自身も参加したいと思う方は挙手をしていただく。

※平成31年度スケジュール

4月	5月～9月	10月	11月～1月	2月
全体会	小委員会開催期間	全体会	小委員会開催期間	全体会

主な意見等（情報・環境学習）
クリーンセンターの見える化が必要。
単身者や学生などの排出するごみが分別されているかについても気になっている。
子供をターゲットに考え、夏休みの自由研究などの発表会
積極的に情報収集、意見交換等をしていきたい
廃プラスチックと海洋汚染などについても情報発信したい
教育の場面なども通しながら、子どもの発送も活かしながら検討
伝えたではなく、伝わったと言われる取り組み
30年後に石田1丁目地区にごみ処理施設の建て替えはないということを伝えたい。
ごみ減量は手間がかかる。「ひと手間かけて」を呼び掛ける必要がある
3市の市民に処理施設に積極的に来てもらってごみが運ばれてきていることを知ってもらいたい
脚を運んで施設見学、環境教育の一環で勉強の機会になる。

主な意見等（ごみ減量施策）
3市のごみの組成を共有して、どのごみを減らすべきかを検討すべき。
異次元の取り組みをしていく必要がある。生ごみが最大の課題と考える
フードドライブ事業などに関心がある。
資源ごみを含めたごみ全体の減量施策を検討したい
各市のベストな取り組みを聞きながら新しい取り組みを検討したい
生ごみの焼却以外の処理方法を考えたい
食育や食品ロスの取り組みを行っていききたい。
可燃ごみの分別ルールの一統の検討を横並びで比較してみたい。
可燃ごみの減量対策として食品ロスと等ごみの減量の意見交換をしたい
高齢化社会の到来などからおむつの排出量も増加すると思う。そのような生理的なごみをどうするかも課題
プラに目がいつている。食品ロスは気持ち一つでできる取り組み
限りなくごみゼロを目指すことを共通認識として持って取り組みたい
生ごみを減らす施策で、食後に生ごみを細かく刻んだりするのは面倒だ
飲食店の食事で食べ残しをしないということを啓発する必要がある
3010運動の推進も必要
食品ロスは各家庭で出る。また、宴会では刺身のつまなどはごみになることが多い